

先制医療、精密医療（precision medicine）とDOHaD

メタデータ	言語: jpn 出版者: 日本DOHaD研究会 公開日: 2018-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井村, 裕夫 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/3231

先制医療、精密医療 (precision medicine) と DOHaD

井村裕夫¹⁾

京都大学¹⁾

現在全世界で高齢者が増加しており、加齢に伴う疾患の予防と治療をよりの確に効率よく行うことが重要な課題となりつつある。そのためには個人の遺伝素因、胎生期からの生活環境と病歴などに基づく「個の医療」「個の予防」が必要となる。これらがそれぞれ精密医療、先制医療である。

21 世紀に入ってゲノム研究が著しく発展し、がん、メンデル遺伝病の研究は大きく進歩した。しかし日常臨床で重要な糖尿病、心血管系疾患、認知症などの多因子疾患については、それらの遺伝素因の構造は明らかになっていない。その理由はなお不明であるが、環境因子、とくに胎生期、生後早期の環境の影響を、より精細に解明することが求められる。DOHaD 研究の重要性は増していると言えるであろう。

こうした立場から考えると、がん、代謝疾患、心血管系疾患、精神疾患などの治療と予防は、今後の医学の主要な研究課題となる。とくに全世界で増加しつつある肥満、糖尿病などの代謝疾患と、それらを基盤として起こる心血管系疾患は cardiometabolic disorders と総称され、その発生機構に慢性炎症が関与していると考えられて注目されている。その研究の現状と、先制医療のための課題について述べる。

【略歴】

1954 年京都大学医学部卒。内科学とくに内分泌代謝学を専攻。神戸大学教授、京都大学教授、医学部長を経て、1991～7 年京都大学総長。1998～2004 年総合科学技術会議議員として科学技術政策に関わる。2004 年以降、科学技術振興機構研究開発戦略センターの活動を通して、新しい医学の方向として「先制医療」を提唱し、同時期に先端医療振興財団理事長として、わが国最大規模のメディカルクラスターとなる神戸医療産業都市の整備に尽力した。現在、稲盛財団会長、関西広域連合顧問、日本学士院会員、米国芸術科学アカデミー名誉会員など。

【演者・共同演者全員と所属の英語表記】

Hiroo Imura

Kyoto University